

新年度一般会計予算規模は1023億円

28日から予算議会始まる

市長による新年度予算の説明が19日、行われました。一般会計の予算規模は久しぶりに1000億円の大台を超え、1023億円余りとなりました。

発表の際、私に気になるのは、これまで日本共産党議員団で提案してきたこと、主張してきたことがどうなっているかです。

最初に「おっ」と思ったのは、木造住宅耐震化予算です。これまでの耐震診断に加えて耐震工事への支援が初めて盛り込まれました。好評の予約型コミュニティバスについては、新規に浦川原区、大島区に導入されるほか、板倉区でもこの実証運行用のバスを購入することです。放課後児童

クラブの日曜日・祝日開設の試行をやる予算も計上されました。心配された住宅リフォーム支援は新年度も継続されました。

新年度も物価高騰などにより市民生活は厳しい状況が続いています。そうしたなか特別職などの報酬引き上げ案が提出されます。市民の理解が得られるのでしょうか。

地域自治の関係で注目したのは、地域独自予算の制度設計についてのみならず、総合事務所などの在り方を含め地域との意見交換、新制度設計を行うとしたことです。こちらへんはしっかりと議論していきたいと思えます。

左表は審議日程です。ぜひ傍聴を！

3月定例議会審議日程 (会議開始はいずれも10時から)

月 日	会議名	会議室名	備考
2月28日 (水)	本会議	議場	提案説明、総括質疑
2月29日 (木)	本会議	議場	総括質疑
3月1日 (金)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件の審査
3月4日 (月)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件の審査
3月5日 (火)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件の審査
3月6日 (水)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件の審査
3月7日 (木)	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件の審査
3月8日 (金)	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件の審査
3月11日 (月)	総務委員会	第1委員会室	私の担当
3月12日 (火)	総務委員会	第1委員会室	私の担当
3月14日 (木)	本会議	議場	一般質問
3月15日 (金)	本会議	議場	一般質問
3月18日 (月)	本会議	議場	一般質問
3月19日 (火)	本会議	議場	一般質問
3月22日 (金)	本会議	議場	付託案件採決ほか

灯の回廊、第一弾

上越市の冬のイベント、「灯の回廊」、今年度は17日と24日に分かれての開催です。

17日は三和、牧、浦川原の3会場を見て回ることができました。いずれの会場も雪が少ない中でスタッフのみなさんが頑張っていました。浦川原の月影の郷会場では、能登半島地震の被災地・被災者応援のろうそくの灯りが素敵でした。



【キクザキイチゲ】
(再掲) キンポウゲ科の多年草。漢字で「菊咲一華」と書きます。今年は少雪ですが、雪の消えたところで、今週から咲き始めました。花期は3月から5月です。花言葉は「静かな瞳」「追憶」「耐え忍ぶ恋」など。写真の花は19日、吉川区代石にて撮りました。



はしづめ法一の活動レポート

No.2147 2024.2.25

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL https://www.hose1.jp/



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七九四回

ぬか床

初対面なのに、何十年前前から知っている、そんな感じのする夫婦でした。安塚区のシンボル、菱ヶ岳の近くに住んでいるMさん夫婦のことです。

白い雪と青空がとても美しい火曜日のことでした。浦川原区のSさんとともに訪ねたMさん宅は国道403号線から少し下ったところにあります。雪のあるところをザックザックと音を立てながら下っていくと、玄関がありました。

Sさんが玄関を開けて声をかけると、すぐにMさんが出てきてくださいました。続いてお連れ合いも姿を見せ、お茶を勧めてくださいました。最初はどんな方だろうと思っていたのですが、かなり前からどさん娘ラーメンさんなどを通じて名前を知っていた人でした。

お茶をいただき、最初に話題となったのは、安塚にある高校のことです。昔は、この学校にはいろんなところから生徒が集まっていたんですね。Mさんは、「西は糸魚川の西海からも来ていた。高柳の石黒からは矢沢という名字の人が二人来ていた。あそこはドブクロの郷だった。じつに美味しい。田沢村からも来ていた」と言われました。石黒のドブクロは「石黒正宗」とも呼ばれ、私も昔から知っていました。田沢というのは松代の田沢でしょうか。次々と登場する人物のことを聞いて、生徒の出身地はずいぶん広範囲だと驚きました。

学校時代は、歩くのが基本、尾神岳や米山にも登ったとのことでした。米山までとなるとかなりの距離になります。ふもとで一泊して山頂を目指したそうです。それにしてもよく歩いたものですね。

話が面白くなってきた段階で、目の前に白菜の漬物が出されていることに気づきました。そこで、私から、「どっ」入行って、私はお茶をいただくときに出来る漬物がどんな味が楽しみなんです」と言っ

たら、Mさんのお連れ合いが今度はキュウリの漬物を出してきてくださいました。

ここでMさんが、今度は自分の出番だとばかりに、ぬか床の話をしてくださいました。この話がまた、あっと驚くものだったのです。Mさんの家のぬか床は、Mさんのお母さんの時代から引き継いでこられ、何と、九〇年以上の歴史があったのでした。物置の地下室から出すときも入れるときもかんもし続け、毎日、ぬか床の子守りをしてきたとのことでした。興味深い話に私はぐいぐい引き付けられました。

目の前に出されたキュウリの漬物はこのぬか床で漬けたものでした。味はどうだったかですって……。そのや、最高です。実にまろやかな味で美味しかったです。

このキュウリの漬物を食べてからも面白くて、懐かしい話がいくつも続きました。そのなかのひとつは、牛の世話と種付けの話です。

昔はこの農家でも牛を飼っていました。この日のような冬の晴れた日は「まやご出し」をしたものです。これは共通の体験でした。「まやご」というのは、牛や馬が自分の居場所の糞尿とわらを踏み固めたものことです。雪の上に出すと湯気が立っていました。Mさんは、「人工授精ではなかなかタネがつかなかった。吉川の名木山にタネ牛がいたので本交させた。牛の本交はニンジンのようなものが一突きして終わった」とも言われました。

最後にもう一つ。私から「恋愛結婚ですか」と訊くと、Mさんは「あきらめ結婚です」と答えました。そして続けて、「でも大当たりでしたね。あれからずっと一緒にいるのだから」とも。九〇歳を超えた男性とそれなりのお年の女性の夫婦ならではの「おのろけ」でしたね。この日、Mさん宅の居間から見える菱ヶ岳は白く輝いていて、「二二二」に見えるように見えました。

各区地域協議会が活動報告会開催

大島区地域協議会活動報告会



- ◎もう5、6年もねと、人口が1000人を割るのはないか。
- ◎これからはもっと若い人、女性の芽が113人な意見をだしもろろ地域協議会になればと思ってる。
- ◎地域独自予算、もうかしなおすところかあ子でいいかい。
- ◎山古志に行って、自然の力の強さ、恐ろしさを感じた。でもそれに立ちむかった人間ていいなと思った。
- ◎4年は長かった。視察研修、なかなか次につなげなかった。各委員のコメントは幅不同です。

市内各区の地域協議会は目前に迫った任期切れを前に活動報告会を開催しています。

このうち大島区地域協議会は18日に開催し、4年間の活動を報告するとともに、都合により参加できなかった人を除く9人の委員が自らの活動を振り返りました。また、今後の抱負も述べました。



18日の三八市の風景

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月14日(水)	2月21日(水)
上越南消防署	0.053	0.053
上越北消防署	災害対応中	0.053
新井消防署	0.057	0.050
頸北消防署	0.050	0.057
頸南消防署	0.063	0.070
東頸消防署	0.043	0.050
名立分遣所	0.063	0.057
高士分遣所	0.050	0.053

春よ来い

第七九四回

ぬか床

初対面なのに、何十年前前から知っている、そんな感じのする夫婦でした。安塚区のシンボル、菱ヶ岳の近くに住んでいるMさん夫婦のことです。

白い雪と青空がとても美しい火曜日のことでした。浦川原区のSさんとともに訪ねたMさん宅は国道403号線から少し下ったところにあります。雪のあるところをザックザックと音を立てながら下っていくと、玄関がありました。

Sさんが玄関を開けて声をかけると、すぐにMさんが出てきてくださいました。続いてお連れ合いも姿を見せ、お茶を勧めてくださいました。最初はどんな方だろうと思っていたのですが、かなり前からどさん娘ラーメンさんなどを通じて名前を知っていた人でした。

お茶をいただき、最初に話題となったのは、安塚にある高校のことです。昔は、この学校にはいろんなところから生徒が集まっていたんですね。Mさんは、「西は糸魚川の西海からも来ていた。高柳の石黒からは矢沢という名字の人が二人来ていた。あそこはドブクロの郷だった。じつに美味しい。田沢村からも来ていた」と言われました。石黒のドブクロは「石黒正宗」とも呼ばれ、私も昔から知っていました。田沢というのは松代の田沢でしょうか。次々と登場する人物のことを聞いて、生徒の出身地はずいぶん広範囲だと驚きました。

学校時代は、歩くのが基本、尾神岳や米山にも登ったとのことでした。米山までとなるとかなりの距離になります。ふもとで一泊して山頂を目指したそうです。それにしてもよく歩いたものですね。

話が面白くなってきた段階で、目の前に白菜の漬物が出されていることに気づきました。そこで、私から、「ど」へ行っても、私はお茶をいただくときに出来る漬物がどんな味が楽しみなんです」と言っ

たら、Mさんのお連れ合いが今度はキュウリの漬物を出してきてくださいました。

ここでMさんが、今度は自分の出番だとばかりに、ぬか床の話をしてくださいました。この話がまた、あっと驚くものだったのです。Mさんの家のぬか床は、Mさんのお母さんの時代から引き継いでこられ、何と、九〇年以上の歴史があったのでした。物置の地下室から出すときも入れるときもかんもし続け、毎日、ぬか床の子守りをしてきたとのことでした。興味深い話に私はぐいぐい引き付けられました。

目の前に出されたキュウリの漬物はこのぬか床で漬けたものでした。味はどうだったかですって……。そりゃ、最高です。実にまろやかな味で美味しかったです。

このキュウリの漬物を食べてからも面白くて、懐かしい話がいくつも続きました。そのなかのひとつは、牛の世話と種付けの話です。

昔はこの農家でも牛を飼っていました。この日のような冬の晴れた日は「まやご出し」をしたものです。これは共通の体験でした。「まやご」というのは、牛や馬が自分の居場所の糞尿とわらを踏み固めたものことです。雪の上に出すと湯気が立っていました。Mさんは、「人工授精ではなかなかタネがつかなかった。吉川の名木山にタネ牛がいたので本交させた。牛の本交はニンジンのようなものが一突きして終わった」とも言われました。

最後にもう一つ。私から「恋愛結婚ですか」と訊くと、Mさんは「あきらめ結婚です」と答えました。そして続けて、「でも大当たりでしたね。あれからずっと一緒にいるのだから」とも。九〇歳を超えた男性とそれなりのお年の女性の夫婦ならではの「おのろけ」でしたね。この日、Mさん宅の居間から見える菱ヶ岳は白く輝いていて、「二二二」に見えるように見えました。

食物アレルギー事故で検証報告書

上越市教育委員会は、昨年9月5日に市内小学校で発生した食物アレルギー誤食事故の報告書をこのほどまとめ、14日の市議会文教経済常任委員会で説明しました。

報告書では、当該児童のアレルギー対応の状況、事故の経過、事故の経緯・検証・改善策を書いています。右のイラストは報告をする教育部長。



得られなかったとのことでした。これでいいのでしょうか。

各委員からは、「主治医の意見が反映されなかったとすれば不完全な気がする」などの声が相次ぎました。

私は委員ではありませんが、委員長に発言を求め、「腹痛を訴えてからエピペンを打つまで18分というのは恐ろしい数字だ。その評価が書いてない」「保護者からは文書の確認をいただいたというが、すべてに納得してもらえたのか」と質問しました。市教委側は、「評価は別の所に書いた（実際には長すぎると書いていません）」「保護者からは主治医の確認をとってと言われていたが、そうっていない」と答えていました。

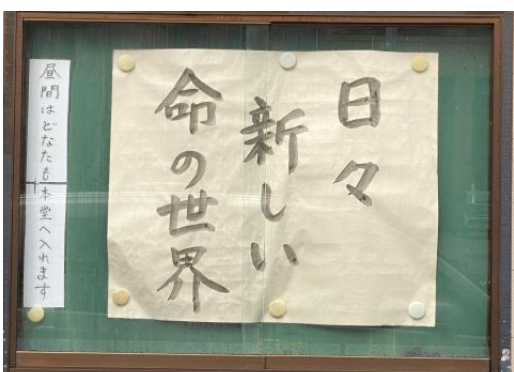
ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月14日(水)	2月21日(水)
上越南消防署	0.053	0.053
上越北消防署	災害対応中	0.053
新井消防署	0.057	0.050
頸北消防署	0.050	0.057
頸南消防署	0.063	0.070
東頸消防署	0.043	0.050
名立分遣所	0.063	0.057
高士分遣所	0.050	0.053



柿崎区浄善寺の掲示板。意味が深いです。

春よ来い

第七九四回

ぬか床

初対面なのに、何十年前前から知っている、そんな感じのする夫婦でした。安塚区のシンボル、菱ヶ岳の近くに住んでいるMさん夫婦のことです。

白い雪と青空がとても美しい火曜日のことでした。浦川原区のSさんとともに訪ねたMさん宅は国道403号線から少し下ったところにあります。雪のあるところをザックザックと音を立てながら下っていくと、玄関がありました。

Sさんが玄関を開けて声をかけると、すぐにMさんが出てきてくださいました。続いてお連れ合いも姿を見せ、お茶を勧めてくださいました。最初はどんな方だろうと思っていたのですが、かなり前から娘ラーメンさんなどを通じて名前を知っていた人でした。

お茶をいただき、最初に話題となったのは、安塚にある高校のことです。昔は、この学校にはいろんなところから生徒が集まっていたんですね。Mさんは、「西は糸魚川の西海からも来ていた。高柳の石黒からは矢沢という名字の人が二人来ていた。あそこはドブロクの郷だった。じつに美味しい。田沢村からも来ていた」と言われました。石黒のドブロクは「石黒正宗」とも呼ばれ、私も昔から知っていました。田沢というのは松代の田沢でしょうか。次々と登場する人物のことを聞いて、生徒の出身地はずいぶん広範囲だと驚きました。

学校時代は、歩くのが基本、尾神岳や米山にも登ったとのことでした。米山までとなるとかなりの距離になります。ふもとで一泊して山頂を目指したそうです。それにしてもよく歩いたものですね。

話が面白くなってきた段階で、目の前に白菜の漬物が出されていることに気づきました。そこで、私から、「どいへ行って、私はお茶をいただきたくときに出来る漬物がどんな味が楽しみなんです」と言っ

たら、Mさんのお連れ合いが今度はキュウリの漬物を出してきてくださいました。

ここでMさんが、今度は自分の出番だとばかりに、ぬか床の話をしてくださいました。この話がまた、あっと驚くものだったのです。Mさんの家のぬか床は、Mさんのお母さんの時代から引き継いでこられ、何と、九〇年以上の歴史があったのでした。物置の地下室から出すときも入れるときもかんもし続け、毎日、ぬか床の子守りをしてきたとのことでした。興味深い話に私はぐいぐい引き付けられました。

目の前に出されたキュウリの漬物はこのぬか床で漬けたものでした。味はどうだったかですって……。そのや、最高です。実にまろやかな味で美味しかったです。


このキュウリの漬物を食べてからも面白くて、懐かしい話がいくつも続きました。そのなかのひとつは、牛の世話と種付けの話です。

昔はこの農家でも牛を飼っていました。この日のような冬の晴れた日は「まやご出し」をしたものです。これは共通の体験でした。「まやご」というのは、牛や馬が自分の居場所の糞尿とわらを踏み固めたものことです。雪の上に出すと湯気が立っていました。Mさんは、「人工授精ではなかなかタネがつかなかった。吉川の名木山にタネ牛がいたので本交させた。牛の本交はニンジンのようなものが一突きして終わった」とも言われました。

最後にもう一つ。私から「恋愛結婚ですか」と訊くと、Mさんは「あきらめ結婚です」と答えました。そして続けて、「でも大当たりでしたね。あれからずっと一緒にいるのだから」とも。九〇歳を超えた男性とそれなりのお年の女性の夫婦ならではの「おのろけ」でしたね。この日、Mさん宅の居間から見える菱ヶ岳は白く輝いていて、「ニニニ」っというように見えました。

大島区地域協議会が活動報告会開催

大島区地域協議会活動報告会



- ◎もう5、6年もねと、人口が1000人を割るのはないか。
- ◎これからはもっと若い人、女性の声が多い人な意見をだしもする地域協議会になればと思ってる。
- ◎地域独自予算、もうかくなおすところかあるのてはないか。
- ◎山古志に行って、自然の力の強さ、恐ろしさを感じた。でもそれに立ちむかった人間ていいなと思った。
- ◎4年は長かった。視察研修、なかなか次につなげなかった。各委員のコメントは幅不同です。

大島区地域協議会は18日に活動報告会を開催しました。

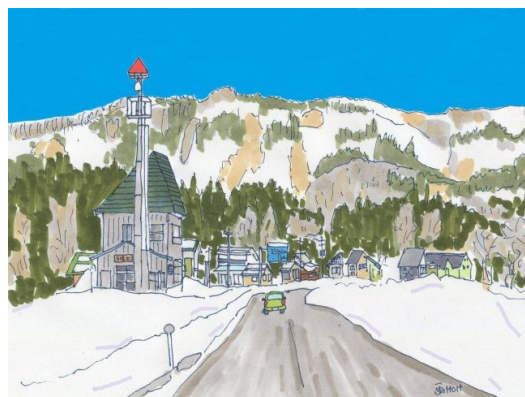
4年間の活動を報告するとともに、都合により参加できなかった人を除く9人の委員が自らの活動を振り返りました。また、今後の抱負も述べました。

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月14日(水)	2月21日(水)
上越南消防署	0.053	0.053
上越北消防署	災害対応中	0.053
新井消防署	0.057	0.050
頸北消防署	0.050	0.057
頸南消防署	0.063	0.070
東頸消防署	0.043	0.050
名立分遣所	0.063	0.057
高士分遣所	0.050	0.053

田麦の県道を歩く女衆



石橋のセンター付近の風景